

全国事例を参考とした大月中心市街地における賑わいづくりのための具体的事業案

分類	NO.	事業名	概要	ターゲット	実現可能性(3段階評価)				実現可能性ランク 10~12点:A 7~9点:B 4~6点:C	課題
					人材確保	物資調達	コスト	準備時間		
駅前を中心とした賑わいづくり	まちのコンシェルジュ事業	「まちのコンシェルジュ」とは、大月への来訪者や地域住民に大月を案内する人。大月駅利用者に対して、大月の魅力を伝えるとともに広場の円滑利用をサポートする。	観光客	2	3	2	3	10	A	・ボランティアを活用するか、観光協会等へ委託するかで、人材及びコストの評価が変わる。
	駅広移動店舗活用事業	駅前広場の一角を移動式店舗に開放、定期的に商店街にはない商品の販売等を行ない利用者新しいサービスを提供する。観光客の休み場としても活用する。	市民 観光客	3	3	3	2	11	A	
	駅広朝市・夕市事業	駅前広場の一角を朝市・夕市広場と設定、市民に開放し、市民の憩いの場を作る。	市民 観光客	3	3	3	2	11	A	・既存の規模であれば、即実施可能。 ・加工食品等の提供については、調理場所の確保や食品衛生法上の許可等が困難である。
	駅広コンサート事業	学生や音楽愛好者に駅広の一部を開放、音楽を核としたまちづくりを行なう。この中から地域のイベントを育てる。	市民	2	3	3	3	11	A	
	ウォーキングトレイル整備事業	大月駅から岩殿山などの山々や桂川、猿橋等大月市の魅力を楽しめるウォーキングトレイルの整備事業。観光名所や自然を歩いて回れる散策路を整備、市民や来訪者にウォーキングを楽しんでもらう。	市民 観光客	3	2	2	2	9	B	・案内板や散策路の整備が必要。 ・散策路マップの作成が必要。
商店街を中心とした賑わいづくり	オープンモール事業	大月駅周辺の道路をオープンモール(車の走らない商店街)と位置付け、時間限定の歩行者専用道路として開放、歩いて買い物や食事ができる商店街を目指す。	市民	2	3	3	1	9	B	・商店主や沿道住民との調整に時間を要する。
	まちなかサロン支援事業	商店街、地域住民、高齢者、短大生、高校生、児童等の活動や交流の拠点として「まちなかサロン」を整備、多世代交流を図る。活動を通して、まちづくりのアイデアや地域資源の発掘、アンテナショップの運営などを行なう。	市民	2	2	2	2	8	B	・活動内容が具体的に決まっていないため、実現可能性の判定は中位にとどめた。活動内容によっては、空き店舗内の改装工事が必要となる。
	連携型地産地消ショップ事業	地域の特産物、農産物を集めた店舗を商店街に設置、住民や観光客に提供する事業。生産者と連携を取り、商品を展示販売。他地域とも連携をはかり、産直市場をもう一段レベルアップした事業とする。	市民 観光客	2	2	2	2	8	B	・既存商店の営業と競合する部分があり、調整が必要である。
	街かどギャラリー事業	大月駅前広場や歩行者専用道路を活用し、地域の学生や社会人、絵画同好会、画家等の絵画や写真書画、陶器等を展示する場所を整備、商店街の活性化につなげる。	市民 観光客	2	2	2	2	8	B	・街全体をギャラリーと見立てた場合など、展示方法によっては調整等に時間がかかる。 ・企画によって難易度が変わる。
	人・物・心をつなぐサービス事業	地域住民が利用しやすい商店街を目指して商店街が住民向けの人・物・心をつなぐサービス事業を実施する。サービスを通して住民との交流をはかり、より住民に喜ばれる商店街を目指す取り組み。	市民 観光客	3	2	3	3	11	A	・内容によっては、今すぐに取り組める。
	着地型観光事業	「健康」と「観光」を融合した「ヘルスツーリズム」の展開。大月短大生による提案の実現。	観光客	2	2	1	1	6	C	・中心市街地を介したルートを選定などの具体的な事業案の検討や、整備費用の捻出など、各方面との調整が必要である。